

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	平成30年11月9日13時30分～14時00分	場所	医師会館理事長室
----	-------------------------	----	----------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
松本 裕	地域住民の代表者	中川地区民生委員児童委員協議会 会長
井澤 一成	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
小川 憲章 (欠席)	当該サービスに知見を有する者	小川メディカルクリニック 院長
池村 明広 (欠席)	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
大山 学 (欠席)	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代	看護主任	
石濱 千秋	計画作成者	
朝比奈 ゆかり	介護主任	
青柳 かおる		
後藤 瑞佳	事務	
加藤 萌子	事務	

4. 活動状況報告

別紙のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

■事例について

1. 事例の方は誤嚥性の肺炎があるとのことでしたが、口腔ケアについては相談をしてもらいたい。
2. 高齢者になったら自分らしく生きていきたいけど、一人では困難になってしまう。このようなときに柔軟にサポートしてもらえるのが、看多機の役割だということが事例でよく分かったし、その道を着実に歩み始めているのは、嬉しい限りだ。
3. 事例で利用者のイメージが分かった。自宅でソファで終日過ごしていたから、施設にきてもまずは、デイルームのソファで過ごしてもらったということが、利用者ごとにあわせて対応しているのは大事だと感心した。

■地域交流について

1. マーマセンター北保育園は、良く知っているからこちらからも御礼を伝えられるので、来てもらってどうだったか、どういう風に来てもらいたいのか、もう少し詳しく教えてほしい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

■事例について

1. ⇒既に歯科に依頼し、本日歯科衛生士に診て貰う予定である。登録者は、原則的には協力歯科医療機関に口腔内のチェックをしてもらっている。
2. ⇒高齢者世帯、日中独居の各々のニーズに応えるサービスとしては、サービス量的な問題はあるものの、そのニーズに応えていかなければならないサービスであると認識している。今後も地域の方のニーズに応えていきたい。
3. ⇒利用者やその家族の生活を理解し、無理なくサービスが開始できるように努めている。

■地域交流について

1. ⇒11月12日が初回の来所となる。一度、来てもらってから相互に話しあいながらお願いしたいと思っていた。次回は、どうだったかを報告する。

7. 地域からの情報提供

・特になし

8. その他特記事項

・特になし

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数(9月1日現在)	女性 10 名		男性 8 名		計 18 名	
要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請・区変中
	2 名	2 名	2 名	4 名	7 名	1 名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	年齢	通い	泊まり	訪問看護	訪問介護	備考(入所日、退所日など)
ア	80	13	6	9	18	10/3登録開始
イ	59	23	1	1	0	
ウ	83	8	7	0	1	10/20登録開始
エ	94	11	7	7	0	
オ	83	21	0	1	0	
カ	71	8	0	10	40	
キ	70	22	9	0	6	
ク	80	8	0	4	0	
ケ	99	17	12	4	71	
コ	90	30	28	36	3	
サ	98	27	22	5	8	
シ	74	9	0	2	15	
ス	72	1	0	0	0	
セ	97	22	8	6	0	
ソ	80	18	14	0	6	
タ	56	8	0	0	25	
チ	78	31	30	0	2	
ツ	70	10	0	0	7	入院10/2-10/9
テ						
ト						
ナ						
ニ						
ヌ						
ネ						
ノ						
ハ						
ヒ						
フ						
ヘ						
合計		287	144	85	202	
平均	79.7	15.9	8.0	4.7	11.2	

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	【利用者の獲得】1. 適切な職員の確保と黒字転換 2. 「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」: その人の「生きる」を支える。寄り添い、理解し、尊重する
目標に向けた具体的取組	1. 求人活動と既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする 2. カンファレンスや記録による情報の共有をしている 3. 利用者や家族の意向を反映した多職種でのケアプランの作成と共有を目指している 4. 研修計画の実施

5. 活動報告

<p>9月13日(木) 消防避難訓練 利用者7名・職員24名参加 9月27日(木) 運営会議 9月28日(金) 感染症の研修会 10月18日(月) 東山田クリニックとのカンファレンス</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容・改善策	<p>《事故》 ■利用者の乗車中のマンション内での接触事故 通所の迎えの際、利用者を乗車させバックでマンション駐車場を出庫しようとした時、立体駐車場の昇降機ボタンのカバー(アクリル板)に右ドアミラーが接触し、アクリル板を破壊、右ドアミラーの一部を損傷した。 【対応】利用者に怪我などがなかったことを確かめた。マンションの管理会社に連絡し謝罪し、警察を呼び対応した。家族には電話連絡し状況を説明し謝罪した。 【原因】利用者が座っている左サイドに注意がいき、右サイドの確認がおろそかになった。 【今後の対策】マンション敷地内への事業所の車の乗り入れは不可になった。2名対応で送迎に行く。</p>
内容・改善策	<p>《苦情》 NH(1件): 7月分の請求書を貰ったが請求書に記載されている「通い」と「看護」の回数が実際とことなると連絡があった。 【苦情内容】 電話にて「通所は頼んでいない日が通所になっている」、「訪問看護は4回になっているがA看護師が3回だけだった。」との訴えあり。 【対応】 ・息子さんが体調不良で救急受診をするために、急遽通所の利用となったと伝えた。息子さんに確認し利用したことを分かったようだった。訪問日や時間を全てノートに記録している。それと違う回数だったことが問題だったと。 ・看護師Bが訪問している旨を伝えるが、記録が残っていないといわれる。 【対策】 訪問時は、名前や職種を名乗り、利用者宅のフローシートに記載することを忘れないようにする。</p>
内容・改善策	

7. 地域への情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし
